

市議会だより

第34号 平成25年 10月31日発行

発行/由利本荘市議会
 編集/議会報編集特別委員会
 〒015-8501 秋田県由利本荘市尾崎17番地
 電話/0184-24-6386
 FAX/0184-27-1793
 Eメール
 gikai@city.yurihonjo.akita.jp



元気村づくり事業(国際教養大生との交流) 9月22日、岩城地域滝俣集落

平成25年 第3回市議会定例会(9月)

一般質問

- 佐々木隆一 議員、渡部 聖一 議員 2 P
- 高橋 信雄 議員、佐々木勝二 議員 3 P
- 佐藤 譲司 議員 4 P

その他

- 国療跡地利活用特別委員会報告 4 P

- 議長公務・交際費報告など 5 P
- 常任委員会報告(Q & A) 6 P
- 定例会内容など 8 P
- 各議員連盟活動報告 11 P
- 常任委員会行政視察報告 12 P
- 市民の声、編集後記など 14 P

市民の声

健康は総てに優先す



西目地域
池田 鐵二

退職後の健康保持の為、私が始めたのはゲートボールでした。その後ニュースポーツとしてグラウンドゴルフが普及され盛んとなりました。指導者もいなく自分自身が監督兼選手の気持ちでプレーをし、いつしかすっかりグラウンドゴルフに嵌まりこれまで練習に励んで参りました。

これは若者男女問わず普及すべきと考え、平成7年、有志相寄りグラウンドゴルフ同好会を発足し、練習場の確保とその維持管理から始め、会員の募集から除々に発展の気運を高めて参りました。

会員の募集の際はこんな返事が返って来ました。「なんと忙しくてスポーツなんかやる暇がない。」「いつもの農作業で身体を動かしているから大丈夫だ。」「とても確かに身体を使っている事かも知れませんが、スポーツには頭脳的作用が併用されていると思います。」「いつまでも元気で、皆さん、皆さんのように元気で、スポーツを通じて自分の健康に合わせて頑張りたい、と思っています。」

最後に、全国的に高齢者が30%を越えております。高齢者に見合った各種スポーツの指導者養成にご理解とご援助を賜りたいと思っています。

「ボートのまち由利本荘」をPR

ボート競技場のある市町村の住民や議会議員が出場する第22回全国市町村交流レガッタが9月28、29日の両日、新潟県阿賀町の県立津川漕艇場で開催されました。

市議会では、日本荘市からの伝統を引き継ぎ、12名の議員が6月から定期的に練習を行い、「ボートのまち」由利本荘のPRなどに努めてきました。

競技結果は、「議会議員シニアの部」が2年ぶり2回目の優勝、「同議員の部」が4位でした。

また、競技には市民クルーが4部門に出場し、本荘由利森林組合Aチームが壮年の部1位、同Bチームが成年の部3位、初出場の小林工業レディースチームが成年女子の部4位、由



息のあったオール揃いで全国を制した由利本荘市クルー

利組合病院チームが壮年女子の部で準決勝に進むなど、「チーム由利本荘」の大活躍により、参加チームの順位に応じた点数の合計点で競われる男女総合で28点を獲得、福井県美浜町を1点差でかわし初の男女総合優勝に輝きました。

編集後記

日本中に夢と希望の広がる、大きな報道が9月8日、ありました。2020年オリンピック夏季大会の東京開催が決まったことです。1964年以来、56年ぶりの開催です。この時の第18回東京大会で、日本は16個の金メダルを含む、29個のメダルを獲得しました。

今から、日本選手の活躍が楽しみです。そして、日本の経済成長への期待も高まります。さて、議会は、9月定例会が閉会し、10月末で4年間の議員任期が満了です。議会改革の一環として議員定数は30人から4減の26人となりました。県内一広い本市においては、課題山積のなかで、これからの4年間、議員の責任はさらに大きくなります。

(専)

一般質問は9月5日・6日の2日間にわたって行われました。各議員の主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

TPP交渉・本市への影響は

会派 日本共産党

佐々木 隆 一議員



質問 TPP交渉からの即時撤退を求める大学教員の会」はTPPで関税を撤廃した場合、関連産業を含めると11・7兆円の生産額減少になるとの試算を発表した。県では、農産物の生産額が2008年に比べ、約4割減少し、米の生産額は半減すると試算している。本市への影響は。

答弁 関税を撤廃し国内対策をしない前提での本市への影響は、所得額ベースで減少額16億1000万円、減少率31

%、生産額ベースで減少額76億7000万円、減少率47%である。減少傾向が続いている状況にあり、大変危惧している。

質問 TPPは日本農業に大きな打撃となるのはじめ「国のかたちを変える」といわれるほど国民生活に大きな影響を与える。政府の規制改革会議は、営利目的で、農地の荒廃につながる株式会社農地の取得や、国民皆保険制度の崩壊につながる混合診療の全面解禁などを進める姿勢を鮮明にしている。

答弁 このままで推移するならば農業のみならず本市経済は崩壊的な打撃を受ける。市長の見解は。 TPP交渉により農林水産業や医療、保険制度への影響が心配され、経済への影響は大変大きいものと考えている。

「羽後本荘駅東西自由通路」の事業化に向け努力

会派 政和会

渡部 聖 一議員



質問 羽後本荘駅東西自由通路事業化への方向性と、都市計画変更での事業化の可能性は。

答弁 次期総合計画での事業化に向け、補助事業や合併特別債の活用を視野に入れた事業計画、スケジュール調整を行い、JRとも施設整備などでの具体的協議を進める。9月定例会に調査費を計上したが、「東西自由通路」と「東口駅前広場」、また「停車場東口線」から国道105号までの未整備区間は一体的な整備が望ましいことから、必要な都市計画決定を行い、より有利な国庫補助事業採択に向けて努力する。

TPP交渉や規制改革による地域経済や国民生活への影響は避けられないものと考えており、今後の動向を注視していく。

質問 鳥海診療所入院病床の廃止について。

答弁 入院病床などが課題で、医師確保に至っていない。「入院病床の廃止」でなく、緊急時に対応が可能な「無床化」へ方向転換し地元説明したが、説明会の案内文書が「廃止」であったため、混乱させたことに対しお詫びする。

提出された陳情書と署名は、地元住民の思いとして真摯に受け止めるが、医師確保を優先させるための特命チームを立ち上げ、業務を強化した。12月20日を一つの区切り、後任医師が確保出来なければ現医師の雇用延長も含め、関係機関と協議しながら鳥海診療所運営を判断する。

議会の動き

7月

1日* 教育民生常任委員会協議会
1日~2日* 秋田県市議会議長会定例会・視察 (能代市)

2日* 各期成同盟会等総会並びに合同整備促進大会
2日~3日* 国療跡地活用特別委員会行政視察 (神奈川県小田原市・平塚市)

4日* 国道107号整備促進期成同盟会通常総会・秋田県国道108号鳥海ライン整備促進期成同盟会通常総会

10日* 山口県防府市議会行政視察

18日* 議会報編集特別委員会
19日* 会派代表者会議

* 国療跡地活用特別委員会協議会
22日~24日* 産業経済常任委員会行政視察(熊本県菊池市・山鹿市・合志市)

24日~26日* 建設常任委員会行政視察(大阪府豊中市・兵庫県姫路市・岡山県倉敷市)

30日~8月1日* 総務常任委員会行政視察(愛知県半田市・三重県伊賀市・大阪府貝塚市)

* 教育民生常任委員会行政視察(北海道河西郡芽室町・河東郡音更町・札幌市)

31日* 東北日本海沿岸市町村議会協議会役員会・総会(山形県鶴岡市)

8月
6日* 議会運営委員会
7日* 香川県丸亀市議会行政視察

* 国療跡地活用特別委員会行政視察 (秋田市)

* 東北日本海沿岸市町村議会協議会中央要望 (東京都)

9日* 第2回臨時会
* 国療跡地活用特別委員会協議会

21日* 県選出国会議員への要望活動・視察研修 (東京都・岡山県岡山市)

23日* にかほ市・由利本荘市議会議員交流会・講演会(にかほ市)

26日* 議会運営委員会
* 会派代表者会議

「身の丈にあった」国療跡地活用を

会派 市民ネット

高橋 信 雄議員



質問 「均衡ある発展」の「均衡」とはどのようなイメージか。「均衡ある発展」が達成したとする判断は誰がするか。

答弁 「均衡」とはバランスが取れていることであり、「均衡ある発展」とは地域格差の

ない住民サービスの提供や安全・安心な生活環境の整備はもとより、各地域に残る伝統文化などの特性を尊重し、地域間の連携を図りながら市全体を魅力的なまちにしていきたいということである。 公約の達成については、私自ら市民の声を聞きながら判断する。

質問 市長が言葉にする「身の丈」とはどのようなものか。国療跡地活用と整備について「身の丈にあった」事業費、運営費や経費はどのようなものか。「身の丈」が当てはまらない市の計画、事業はあるか。

答弁 「入るを量りて出するを為す」を基本とした「堅実で健全な財政運営」に努める意味を込めて表現した。実質公債費比率の新たな目標を16%に定め、有利な補助事業を効果的に活用する。国療跡地活用事業は合併特別債を活用し、防災公園などに関する補助事業について国・県と協議を重ねている。概算事業費は現段階で約75億円を見込み、年間の維持管理費は大内の総合体育館の約3600万円の

鳥海ダム建設事業に対する市の今後の対応について

会派 フォーラム輝

佐々木 勝 一議員



質問 鳥海ダム建設事業の継続決定に伴う市の今後の対応について伺う。

答弁 去る8月23日、国交省より鳥海ダム建設事業について、事業を継続することが決定したと示された。市ではこれを表明しており、今後、ダム基本計画の策定時に、鳥海ダム利水計画書と事業評価資料を作成し、国に回答する必要がある。併せて、水道事業の経営変更認可申請を厚労省へ提出し、許可を得るなどの対

応や、利水に応じた建設事業への負担金に対応する必要があるものと想定している。

また、このダム事業は、約800億円の事業費が示されており、雇用を含め、たいへん大きな経済効果が見込まれるとともに、完成後は鳥海山、法体の滝などとの連携により、観光資源として大きな効果があるものと期待している。

質問 松ヶ崎小学校閉校後の校舎利用について伺う。

答弁 閉校後の利活用について、早急に方向性を決定するべきものと認識している。現在の検討案としては、郷土の先覚者の作品や資料の展示公開の場とする事や、産業振興の一環として民間事業者への貸付などがある。

また、松ヶ崎出張所を移転しての利用も検討案の一つとして可能かと思う。

空き校舎の利活用については、教育委員会はもとより、庁内で検討に入っているところであるが、本市として、この場所に必要とされる公共施設や、地域の活性化を考えた地元のアイデアがないか等協議している。

鳥海山の保護と活用について

会派 創風
佐藤 謙 司議員



質問 被川山荘の活用について

答弁 滞在型の観光を推進するためには、被川周辺の整備が最も重要な課題であると考えている。改修に当たっては、食事提供機能や、休憩室のスペース拡充、トイレの改修、シャワー設備の設置などを要望していたが、今年度中に、要望内容を盛り込んだ実施設計に着手する予定となっている。

質問 七ツ釜避難小屋の建て替えを考えるべきはないか。
答弁 設置場所の検討を含めて、トイレ付きの避難小屋の建て替えを設置者である県に対して要望していく。

質問 鳥海山遭難対策について
答弁 ことし1月に発生した鳥海山スノーモービル遭難事案では、遭難救助活動にスノーモービルが機動力を発揮した。冬山での遭難救助は、過酷な気象条件のもと、危険が伴うことからスノーモービルによる救助のほか、雪上車による人員や機材輸送も重要と考えている。



鳥海総合支所所管の雪上車

鳥海総合支所で管理している雪上車は老朽化が著しく、更新について検討していく。また、捜索時における本市の消防団員に対する費用弁償については、他の自治体では出動区分により費用弁償の額を定めている例もあり、今後、消防団員の意見も聞きながら、関係部署と向きに検討していく。

国療跡地利活用特別委員会報告(Q&A)

Q 今定例会の補正予算の内容について伺う。

A、国療跡地利活用事業における事業用地と市道との整備区分測量に係る委託費2516万1000円、都市計画決定及び防災公園整備事業認可申請に係る委託費800万円を補正するものである。

Q 基本計画(案)について委員会の対応を伺う。

A、昨年12月定例会に当特別委員会が設置され、これまで先進地視察を行うなど協議を重ねてきた。

委員会では、財政負担の問題や施設の規模、地域経済への波及効果の疑問など反対の意見があった。一方では、市民からの要望書、国庫補助による財政負担の軽減、防災拠点としての必要性、将来に向けた施設の必要性などの賛成意見があり、協議の結果、計画(案)に合意することに決定した。これを受け、基本設計に取り掛かるものである。

議長公務・交際費報告

(平成25年7月～9月分)

公務報告

月	日	行事
7月	1	秋田市議会議長定例会/視察(能代市1~2日)
	2	各期成同盟会等総会/合同整備促進大会
	3	秋田由利牛マスコットキャラクター愛称選考委員会米まつり実行委員会
	4	国道107号整備促進期成同盟会通常総会・秋田県国道108号鳥海ライン整備促進期成同盟会通常総会
	6	市まちづくり講演会/懇親会
	7	西目漁港まつり
	9	市青少年ハンガリー友好交流訪問団結団式
	13	乃木坂46 ABSラジオ公開生放送 激励「旧藩祭」交歓の夕べ
	14	市消防訓練大会
8月	17	都市対抗野球TDK VS 伯和ビクトリーズ(東広島市 JTDK激励 東京都)
	19	会派代表者会議
	20	本庄大名行列保存会(仮)設立総会
	20	本庄マリナー海水浴場安全祈願祭
	20	由利畜産共進会開会式/褒章授与式/祝賀会
	28	日本海洋上花火大会
	28	ハンガリーヴァーツ市訪問(～8月5日)
	6	議会運営委員会
	7	東北日本海沿岸市町村議会協議会中央要望(東京都)
9	市議会臨時会	

月	日	行事
8月	17	土 本庄進歩全国大会30周年記念式典/記念公演/祝賀会
	21	水 県選出国会議員への要望活動/研修視察(東京都・岡山市1～22日)
	23	金 市戦没者追悼式/市戦没者遺族地方大会
9月	1	日 市老人クラブ連合会本庄地区福祉展授賞式
	3	火 にかほ市・由利本庄市議員交流会/講演会(にかほ市)
	5	木 議会運営委員会
10月	1	日 市総合防災訓練
	1	日 由利組合総合病院創立80周年記念式典/記念講演/記念祝賀会
	3	火 はまなすの郷西目に想いをよせる会
	5	木 市老人クラブ連合会親善グラウンドゴルフ大会開会式
	5	木 市議会定例会本会議(閉会)
	6	金 市議会定例会本会議(一般質問)
	7	土 議会運営委員会
	7	土 市議会定例会本会議(一般質問)
	8	日 市議会定例会決算審査特別委員会

月	日	行事
9月	14	土 秋田馬子唄全国大会
	15	日 小川大部落会行政懇談会
	18	水 大内地域敬老会
	19	木 国民体育大会社行会
	19	木 市青少年ハンガリー友好交流訪問団派遣報告会
	20	金 東由利地域敬老会
	20	金 市議会定例会決算審査特別委員会(主査報告)
	21	土 市クラウドゴルフ連合会親善大会開会式
	21	土 岩城地域敬老会
10月	21	土 由利組合総合病院運営委員会
	24	火 鳥海地域敬老会
	24	火 東由利中学校改築工事起工式/安全祈願祭
	25	水 議会運営委員会
	25	水 市議会定例会本会議(閉会)
	26	木 コミュニティ体育館建築工事起工式/安全祈願祭
	26	木 市消防庁舎建設工事起工式/安全祈願祭
	27	金 本庄地区(東部・西部)敬老会
	28	土 広域施設現地視察

交際費報告 (円)

月	日	支出内容	支出額
7月	2	火 国療跡地利活用特別委員会行政視察特産品土産代	15,100
	6	土 市まちづくり講演会懇親会会費	4,000
	10	水 山口県防府市議会行政視察茶菓子代	1,250
	10	水 山口県防府市議会行政視察へ寸志	5,145
	13	土 旧藩祭「交歓の夕べ」会費	3,000
	13	土 旧藩祭いわき市訪問団特産品土産代	9,000
	19	金 本庄大名行列保存会(仮)設立総会懇親会会費	4,000
	20	土 由利畜産共進会祝賀会会費	3,000
	22	月 産業経済常任委員会行政視察特産品土産代	14,040
8月	24	水 建設常任委員会行政視察特産品土産代	12,560
	24	水 総務常任委員会行政視察特産品土産代	7,500
	30	火 教育民生常任委員会行政視察特産品土産代	10,410
	7	水 国療跡地利活用特別委員会行政視察特産品土産代	3,500

交際費報告 (円)

月	日	支出内容	支出額
8月	7	水 香川県丸亀市議会行政視察茶菓子代	336
	7	水 香川県丸亀市議会行政視察へ寸志	3,360
	17	土 本庄進歩全国大会30周年記念祝賀会会費	3,000
9月	1	日 はまなすの郷西目に想いをよせる会会費	3,000
	1	日 由利組合総合病院創立80周年記念祝賀会会費	8,000
	7	土 石川善兵衛翁の功績をたたえる植林祭祝賀会会費	3,000
	7	土 西目地域敬老会御祝い	3,348
	8	日 松ヶ崎地区敬老会御祝い	3,400
	15	日 南内越地区敬老会御祝い	3,380
	15	日 小川大部落会行政懇談会へ寸志	3,400
	18	水 国民体育大会健闘料	20,000
	19	木 大内地域敬老会御祝い	3,100
10月	18	木 東由利地域敬老会御祝い	3,360
	20	金 岩城地域敬老会御祝い	3,220
	21	土 鳥海地域敬老会御祝い	3,160
	21	土 本庄地区(東部・西部)敬老会御祝い	3,386
	26	木	

交際費報告 (円)

月	日	支出内容	支出額
9月	27	金 本庄地区(石脇・中央)敬老会御祝い	3,386
	29	日 子吉川はせ釣り大会賞品代	5,000

甲事 (円)	
件数	3件
支出額	120,000

各月の交際費合計(甲事除く) (円)			
	7月	8月	9月
件数	12件	4件	15件
集計額	89,005	10,196	72,140

国療跡地利活用特別委員会行政視察報告

当特別委員会は、市当局から示された国療跡地利活用基本計画(案)について、先進地事例を調査するために次の3カ所の施設を行政視察しました。

視察の目的は、施設を計画した経緯、概要、管理状況、利用料金、利用状況、地域への波及効果などのほか、当局が計画しているメインアリーナの大きさバスケットボールコート4面が果たして必要かを研究することでした。

最初の視察は、7月2日、平成9年完成の神奈川県小田原市「小田原アリーナ」でした。当施設は、本市が計画しているバスケットボールコート4面を擁するもので、施設本体の工事費は5億6000万円です。現在指定管理者制度を導入、市の実質負担額は年1億1300万円ほどのことでした。また、地域への波及効果については、計算したことはないが、市民からは評価されているとのことでした。

3日は、平成16年完成の平塚市「ひらつかアリーナ」を視察しました。小田原アリーナ同様の4面の広さですが、サブアリーナはなく、総工費38億4000万円です。指定管理者

制度を導入、市の実質年間負担額は、1億6600万円ほどのことでした。また、市民の施設への評価も良好なことでした。

両施設とも、地理的条件もありますが、スポーツ大会やイベント等で高い利用率を上げていました。

8月7日は、バスケットボールコート3面の施設を研究するため、平成6年完成の秋田市立体育館を視察しました。3面のメインアリーナに加え、サブアリーナ、卓球室、多目的ホール、ジョギングコースを備え、平均64%の利用率で市民に喜ばれているとのことでした。

3施設ともそれぞれ特徴があり、実際に見て、質問し、説明を受けることにより、本市が計画しているスポーツ拠点施設の在り方について大変参考になった視察でした。



バスケットボールコート4面の広さを誇る小田原アリーナ

関係私企業の請負契約等の状況報告

議会議員政治倫理条例にかかわる関係私企業との10万円を超える請負契約などについて、市長から9月3日付けで報告がありましたので次のとおり公表します。

関係する議員	事業名	請負人の氏名	金額	契約年月日または支払い年月日	契約期間または物品納入期日
高橋 和子	物品などの購入	秋田しんせい農業協同組合	3,857,566円	平成25年5月31日	平成25年5月1日～31日
		代表理事組合長 畠山勝一	1,203,879円	平成25年6月27日	平成25年6月1日～27日

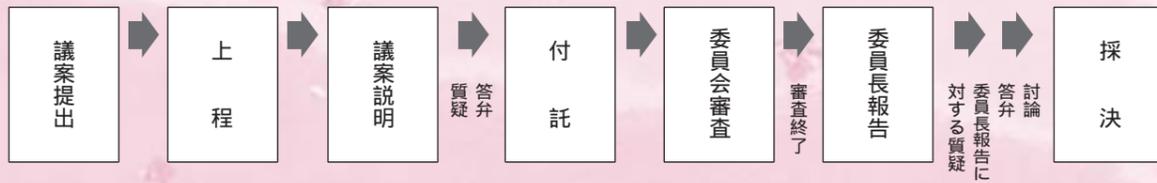
なお、高橋和子議員の親族が、関係私企業の役員を6月27日付けで辞任したため、同日までの報告となっております。

- 9月
- 3日*市議定会定例会本会議(開会)
- 5日~6日*市議定会定例会本会議(一般質問)
- 6日*議会運営委員会
- *決算審査特別委員会
- *会派代表者会議
- *議会報編集特別委員会
- 9日*国療跡地利活用特別委員会協議会
- 10日~12日各常任委員会・決算審査特別委員会各分科会
- 13日*決算審査特別委員会分科会
- 17日*決算審査特別委員会主査会議
- 18日*教育民生常任委員会協議会
- 19日*決算審査特別委員会
- 24日*教育民生常任委員会協議会
- 25日*議会運営委員会
- *市議定会定例会本会議(閉会)
- *議会報編集特別委員会

常任委員会報告(Q&A)

上程（議事日程に組み入れ、議題として審議の対象とすること）された議案は各常任委員会および特別委員会に付託されます。各委員会では、議案および報告事項について慎重に審議されています。

～ 議案審査の流れ～



建設常任委員会

Q、平成24年度の住宅リフォーム資金助成事業の実績と今年度の執行状況などについて伺う。

A、平成24年度は944件の交付が決定している。また当初予算額1億2000万円に対し補助金交付決定額は8176万8千円で1件当たりの平均額は8万5711円となっている。工事額の合計（事業効果）は16億9122万3190円で、1件当たりの平均工事額は179万1550円となっており一定の事業効

果はあるものと受け止めている。また、事業内容（工事内容は、外壁補修211件、居室内装192件、屋根葺替190件、外壁塗装161件、便所131件、外部建具106件、屋根塗装103件が主なもの、次いで台所や浴室など、幅広く利用されている。なお、平成22年度から24年度までの3力年の合計は、工事件数3222件、補助金交付額3億8001万円で工事額の合計（事業効果）57億4

産業経済常任委員会

Q、貸し工場の取得予算は1億9000万程度とのことだが、取得後に塩漬けになるようなことはないか。

A、既に市外の2社から問い合わせを受けており、その後4社からの接触があるなど好感触を得ている。最近の企業進出は、可能な限り設備投資を抑える傾向にあることや、国道7号沿いの好立地は貸し工場の入居に有利で魅力的なものと考えている。

Q、取得の契約先はどこか。

A、物件は登記上、技研テクノロジー（株）の所有であるが、現在も清算準備中のため、清算人代表との契約となる。

Q、貸し工場の使用料には、駐車場や共有部分も含まれているのか。

A、含まれている。駐車場は、使用面積で家賃に按分する。また、共有のキュービクル（高圧受電設備）等は別途使用割合で按分される。

Q、貸付期間は最長5年となっているが、その後の企業による買い取りの見込みはどうか。

A、本会議で可決後、全力で企業誘致に取り組むために、まずは市の所有としたい。進出企業に対しては、貸付以外にも買い取りを含めた交渉をしていく。

初日提案での即議決という案件だったが、委員からは、①取得経費を削り、有利に買い取りできるよう当局の努力を望みたい。②早期に今回取



石脇の貸工場内部

得する5つの工場全てが進出企業で埋まり、操業することで本市の雇用改善に寄与してもらいたいとの意見・要望があり、全会一致で可決した。

教育民生常任委員会

Q、行財政改革の一環として保育園の完全民営化計画（素案）が示されたが、利用者の受け止めはどうか。民営化に対しての不安などないか。

A、市では、子供の成長段階に沿った子育て家庭の支援を継続的に実施してきている。公立保育園民営化計画（素案）の概要を、各保育園の保護者会代表や識見を有する方々で構成する「市立保育所の在り方検討委員会」に示し、その中で「地域への説明にあたっては、具体的な事柄につ

いて丁寧な説明してほしい」とのご意見があった。説明会の開催はこれからであるが、保護者の方々をはじめ、地域の皆様の不安などには十分配慮しながら進めていく考えである。「安心して子どもを産み育てられる環境の整備・充実」を目指し、市が責任を持って保育の給付を実施することを説明しながら、ご理解をいただいで参りたい。

Q、鳥海診療所入院病床存続に関する陳情が提出されているが、経緯の説明を求めらるが、

A、6月定例会終了後に鳥海地域市民に、来年3月末をもって病床廃止の計画であると説明した。その後、緊急対応可能な「無床化」で説明したが、無床化の解釈に誤りがあり訂正させていただく。

陳情書審査は9月10日、採決は同12日であり、全会一致で採択すべきとなったが、定例会最終日（9月25日）に市長より、当面、現体制を維持していく旨の発言があった。



鳥海診療所の現状を医師より伺う(9月12日)

総務常任委員会

Q、各地域の公共施設緊急修繕等に係る支出一覧を見ると、1件100万円を超えるものや、指定管理などへの支出もある。ルールなどはあるのか。当初予算ではどうだったのか。補正予算で対応すべきものもあるのではないか。

A、委員会の要請があり初めて取りまとめた。全てが財政課を経由するものでなく、指摘のように一定のルールが必要かもしれない。修繕等だけでなく流用も範囲を決めて可能であると言ってきており、

予算執行に関しては、ある程度支所長の裁量を認めている。Q、収納率が向上している。景気回復が収納対策効果か。24年度はまだ、景気回復の効果が無いときであり職員の努力が実績として現れていると考えられ、高く評価したい。

A、市税に対してはまとめたものが無いが、国保税については、市町村の効果的な対策が実を結んでいるのではと考えている。収納については評価いただけることは大変ありが

Q、カダールの運営費と防犯カメラの設置について。

A、運営費は、およそ当初見込み内の1億3000万円あまりで、防犯カメラは11台設置している。基本的には出入り口に設置しているが、2階、3階の死角になっているところにも設置している。



カダールに設置されている防犯カメラ



平成25年度一般会計補正予算

22億2,210万3千円を追加

平成24年度一般会計・特別会計・企業会計決算を認定

平成25年第3回定例会議（9月）は9月3日から25日までの日程で開催されました。
 今定例会への提出議案は、最終日に追加提出された財産（企業支援貸工場用地及び建物）の取得などの契約案件を含め、決算認定18件、人事案件3件、条例関係8件、補正予算16件、契約などのその他案件10件の計55件が提案され、各案件が慎重審議された結果、原案どおり同意・認定・可決されました。
 また、陳情3件を採択としたほか、継続審査中の「ドクターヘリの安全運航と県民の安全・安心を守るための米軍機（F-16とMV22オスプレイ）の低空飛行中止を求める意見書提出についての陳情」については、不採択としました。

決算審査特別委員会

平成24年度決算審査のため、決算審査特別委員会が設置され、各常任委員会をそれぞれ分科会として、他議案と並行して審査しました。平成24年度一般会計の歳入総額は、526億8839万1千円で、前年度比は44億7162万2千円（7.8%）の減。歳出総額は、507億7484万1千円で、前年度比は43億6548万9千円（7.9%）の減となり、歳入歳出差引額は、19億1355万9千円です。これから翌年度に繰り越す

べき財源を差し引いた実質収支額は、17億4233万9千円の黒字となっています。

主な財政分析指標	見込値
* 実質収支比率	5.6%
* 経常収支比率	89.5%
* 財政力指数	0.32
* 標準財政規模	31,214,447千円

補正予算の主なもの

一般会計

一般会計は、歳入歳出をそれぞれ22億2210万3千円増額し、総額を497億8335万6千円としています。

- 総務費 2056万1千円
- 国療跡地活用事業（測量） 2056万1千円
- 特別養護老人ホーム建設事業 1億7400万円
- 業貸付金 1億7400万円
- 長期債償還元金 12億5827万4千円
- 民生費 3575万4千円
- 保育所入所措置事業 3575万4千円
- 「朋楽荘」解体事業費 2619万9千円
- 衛生費 515万円
- 不妊治療費助成事業 515万円
- 鳥海診療所医師確保対策事務費 98万7千円
- 風しん、ロタウイルス予防接種助成金 310万円

- 農林水産業費 320万9千円
- 農地等単独災害復旧補助金 320万9千円
- 新規就農者経営開始支援事業 786万3千円
- 農業基盤整備促進事業 4637万円
- 治山事業 2561万円
- 商工業 1000万円
- 地域工業振興費（技研テクノロジ）跡地取得費） 1億9005万円
- 商品券事業費補助金 1000万円
- 地域工業振興費（貸し工場管理費） 3487万4千円
- 土木費 3350万円
- 国療跡地活用事業（都市計画決定、防災公園整備事業認可申請） 800万円
- 道路維持事業 3350万円
- 由利橋架替事業 586万6千円
- 都市計画事務費（JR羽後本荘駅東西連絡通路調査事業） 300万円

- 消防費 1966万1千円
- 災害対応給水車購入事業 1966万1千円
- 教育費 420万3千円
- 出羽中学校施設整備事業 420万3千円
- 石脇体育館改修事業 650万円
- 災害復旧費 1543万7千円
- 公共土木施設災害復旧事業 1543万7千円
- 林道災害復旧事業 4030万円
- 情報センター ケーブルテレビ設備保守委託料 3237万6千円
- 下水道事業 1224万6千円
- 消費税の追加など 1224万6千円
- 集落排水事業 567万9千円
- 消費税の追加など 567万9千円
- 水道事業 3552万1千円
- 西目導水施設改良費の追加など 3552万1千円

特別会計

- 条例関係（主なもの）
 - 市老人憩の家条例の一部改正
 - 朋楽荘を用途廃止するためのもの。
 - 市企業支援貸工場条例の一部改正
 - 企業支援貸工場を追加するためのもの。
- 人事案件
 - 人権擁護委員の推薦
 - 佐藤寛氏（再任・石脇）
 - 佐藤孝藏氏（再任・鳥海町下直根）
 - 岡田康司氏（新任・西目町西目）
- その他案件（主なもの）
 - 市道路線の認定
 - 伏見沢外山線
 - 農道整備事業及び林道整備事業で道路改良した路線を認定するもの。
 - 財産（企業支援貸工場及び建物）の取得について

- 土地面積
 - 取得金額 3万3057.00㎡
 - 取得金額 1億2285万円
 - 工場及び附属建物面積 1万682.82㎡
 - 取得金額 4835万2500円
 - 企業支援貸工場として活用するため取得するもの。
- 陳情
 - 今定例会には、陳情3件が上程され、また、継続審査中の陳情1件も審査されました。
 - 採択
 - 日本政府に核兵器全面禁止の決断と行動を求める意見書提出についての陳情
 - （原水爆禁止秋田県協議会 理事長 斎藤 重一）
 - ・少人数級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るため、2014年度政府予算に係る意見書提出に関する陳情
 - （秋田県教職員組合 執行委員長 山縣 稔）
 - （秋田県教職員組合本荘由利支部支部長 猪股弥太郎）

平成24年度 各会計決算額 (単位:千円)

会計別	歳入	歳出	差引残額	
一般会計	52,688,391	50,774,841	1,913,550	
特別会計	国民健康保険	10,540,554	9,699,125	841,429
	後期高齢者医療	751,580	750,342	1,238
	診療所運営	436,002	436,868	866
	受託施設休日応急診療所運営	14,393	12,454	1,939
	情報センター	412,532	406,590	5,942
	地域情報化事業	131,220	125,361	5,859
	奨学資金	79,218	76,065	3,153
	介護サービス事業	1,010,389	917,895	92,494
	下水道事業	2,573,077	2,554,597	18,480
	集落排水事業	1,918,308	1,891,959	26,349
	簡易水道事業	919,093	892,882	26,211
	スキー場運営	210,220	197,075	13,145
	小友財産区	2,653	2,316	337
北内越財産区	513	513	0	
松ヶ崎財産区	914	913	1	
計	19,000,666	17,964,955	1,035,711	
会計別	総収益	総費用	純利益	
企業会計	水道事業会計 1,549,754	1,204,218	345,536	
	ガス事業会計 1,117,303	1,027,607	89,696	

平成24年度の主な事業

- 市本庁舎耐震改修事業 1億8891万5千円
- 水林球場改修工事 2億5656万3千円
- 本荘中央地区土地区画整理事業 1億1182万3千円
- 由利橋架替工事 8億8684万7千円
- 文化会館・本荘図書館解体事業 1億6563万2千円
- 鳥海地域統合小学校建設事業 10億8919万5千円
- 岩城松ヶ崎地域統合小学校建設事業 6億2160万4千円

・鳥海診療所入院病床存続に関する陳情
（鳥海診療所入院病床存続を願う会）

代表 松田 訓
副代表 眞坂 孝衛
副代表 大場良太郎
副代表 藤原 友一

不採択

・ドクターヘリの安全運行と県民の安全・安心を守るため米軍機（F 16とMV22オスプレイ）の低空飛行中止を求める意見書提出についての陳情

（秋田県平和委員会）
会長 風間 幸蔵

意見書

議員発案による意見書3件と、今回採択された陳情の委員会発案による意見書2件が可決され、関係機関に送付されました。

議員発案
・「地方税財源の充実確保」を求める意見書

・経済・雇用対策強化のための地方財政の充実を求める意見書

・「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書

委員会発案

・日本政府に核兵器全面禁止の決断と行動を求める意見書
・少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書

第2回市議会臨時会（8月）

提出された案件は、報告案件2件、条例関係2件、補正予算1件、契約関係などその他の案件9件の合計14件で、いずれも原案どおり可決されました。

補正予算一般会計

一般会計は、歳入歳出をそれぞれ11億491万5千円増額し、総額を475億6125万3千円としています。

総務費
ともしび基金積立金
1億7000万円

地域貢献活動支援基金積立金
8000万円

農林水産費
農地等単独災害復旧補助金
948万円

土木費
由利橋通線電柱移転補償
90万円

教育費
新山小学校校地復旧費用
27万3千円

災害復旧費
林道災害復旧補助事業
820万円

公共土木施設災害復旧事業
（現年災害）
3000万円

林道災害復旧単独事業
1745万円

公共土木施設災害復旧事業
7億2483万5千円
公共土木施設単独災害復旧事業
3663万4千円

条例関係

市ともしび基金条例の制定
市ともしび基金を設置し、地域を支える「人づくり」と交流と文化による賑わいのあるまちづくりに寄与するため、制定するもの。

地域貢献活動支援基金条例の制定
地域貢献活動支援基金を設置し、熱意とやる気をもって地域社会貢献に寄与する活動を行っている団体などに対し、公益的な事業活動に要する費用に充てるため制定するもの。

市本庄清掃センター基幹的設備改良工事請負契約の締結
契約額 20億8950万円

契約関係（主なもの）

市消防庁舎建設（建築）工事請負契約の締結
契約額 13億9650万円

契約相手
村岡・山科・三浦特定建設工事共同企業体

東由利中学校改築工事（建築主体）請負契約の締結
契約額 10億6050万円
契約相手
村岡・長田特定建設工事共同企業体

コミュニティ体育館建築工事請負契約の締結
契約額 2億8665万円
契約相手
伊藤建友・塚本建設特定建設工事共同企業体

その他案件

土地（子吉川遺跡公園整備事業用地）の取得について
土地面積 6700・82㎡
取得価格 1億2699万7895円
市土地開発公社が所有する子吉川遺跡公園整備事業用地を取得するもの。

産業活性化議員連盟活動報告

活動報告 森林・林業・林産業活性化推進議員連盟

当議連の今年度の事業計画は、木質パウダー燃料製造施設とパウダーボイラーの促進、及び、きめ細かな路網の整備促進であります。木質パウダーの導入は当局も鋭意努力していますが、障害が多く難儀している状況です。路網の整備については年次計画どおり実施しているとのこと。

今回の現地視察は、これまでになく山を守るために県が実施している民有林補助治山事業の地すべり防止工事の現場でした。山の中腹に掘られた延長800メートルのトンネルに入り往復し見たものは、山を守る技術のすごさでした。

その後、場所を移して由利森林管理所木村署長の「森林・林業再生に向けた取り組み」と題した講演会を開催し、国の施策を分かり易くお話しして下さいました。

そして、今年度最後は、市当局に対して、本市林産業の活性化に尚一層積極的に取り組んでいただくため、4項目の提言を行いました。



鳥海の地すべり防止工事現場

由利本荘市管内は、農業生産形態や先進事例等、他市町村や他県と比較し、きわめて優れている事例を見ることが出来ます。今回は、特に西目型農業として名高い西目地域現場研修を実施しました。

水田におけるパイプライン方式、転作大豆の大規模団地のブロックローテーション、乾田直播の先端技術等、きのこの里西目を確立しているきのこの団地、これは県内ぶなしめじの70%を生産し、米をしのぐ生産額とのことでした。

また、和牛預託事業生産者の飼育経営状況は、常時200頭近い肥育で、由利牛の肥育に将来参考として生かしたい事例でした。

今、6次産業化が盛んに奨励推進されていますが、（株）秋田ニューバイオファームの観光農園ハーブワールドや、農畜産加工実績は、正に管内の規範となり得る実践であると感じました。



きのこの里西目で説明を聞く

農水部会

商工部会は「農工商連携による地域活性化について」をテーマに石脇（株）齋彌酒造店を視察し、杜氏高橋藤一氏から酒造りについてお話を聞きました。

酒造りの基本は、米、米麹、水の3つが原材料となり、酒のペースとなるものは水です。まず良質の水が得られるのが基本です。齋彌酒造店は裏手の「新山」を水源とし、蔵の敷地内から湧き出る中硬水の仕込水は創業100余年を経た今も枯れることなく蔵の宝として豊かな水量、水質を保っています。蔵の中には6%の傾斜があり、「のぼり蔵」と呼ばれ、高橋杜氏はこの坂が酒造りに適していると言います。

酒造りは自然に出来てくるのを待つのが基本ということで「權入れ」をしません。高橋杜氏の信条はアルコール添加をせず、加水、濾過もせず、そのままの姿で酒を味わってほしいというものでした。杜氏50年の職人魂です。



高橋杜氏の案内で酒造りの理解を深める

商工部会

少子高齢化と人口減少が著しい秋田県は、観光を「総合戦略産業」と位置付けて振興に力を入れております。

昨年、県庁に前田和久観光文化スポーツ部長を訪ね、お話を伺いましたが、ぜひ多くの議員の方々と意見交換の場を持ちたいという双方の思いが、「鳥海山を核とした観光振興を語る会」として7月9日実現いたしました。

当日、前田部長と鳥海山の会会長の庄司昭夫氏を講師として、前田部長からはデスティネーションキャンペーンや国民文化祭などと絡めた県の主な取り組み内容、そして庄司会長からは鳥海山の魅力があふれた多くのスライドを見せていただき、藤原副市長からも市の取り組みを伺いました。

交流人口の増大策として観光振興がこれまで以上に重きをなす中で、重要なご提言ご指摘のある意見交換会となりました。



さまざまな視点から「鳥海山観光」を語り合う

観光部会

総務常任委員会は、7月30日から8月1日までの日程で、愛知県半田市、三重県伊賀市、大阪府貝塚市の3市を視察しました。その中から、半田市の「防災まちづくり」の取り組みを報告します。

半田市の取り組みは南海トラフ巨大地震を想定したもので最大震度7、津波4.5としています。昭和34年の伊勢湾台風で半田市は300名の死者を出しているため、防災まちづくり事業には住民が積極的に参加しています。

特に岩滑区は人口6500人、世帯数2450世帯ですが7つの班に分かれて毎年避難、消火、救護、濃煙体験、AED心肺蘇生法などの訓練や大会を行っています。各部会では消火班研修、家具転倒防止講習、給食、給水、炊き出し研修などを行っています。

このような実績から平成23年には「防災まちづくり大賞」の総務大臣賞を岩滑区自主防災会が受賞しました。また、同年10月には日本生命財団から「防災から安住のまちづくり」が助成事業対象となり、700万円の援助を受けています。

「私だけは被害者にならない」、「防災対策は誰かがやってくれるものだ」という間違った思い込みが最も危険なことであり、「決してあきらめないこと」

産業経済常任委員会は、7月22日から24日までの日程で、熊本県菊池市、山鹿市、合志市、の三市を視察しました。

最初の菊池市では、「中学校跡地を活用したまちづくり&グリーンツーリズム拠点施設」に関し、本市でも課題となっている統廃合後の学校跡地活用と観光振興策が研修のテーマとなりました。

訪問先の「きくちふるさと水源交流館」は、旧菊池東中を改築したもので運営は「NPO法人きくち水源村」が菊池市との指定管理協定のもとに行われており、指定管理料は、平成18年当初で1800万円、最近では1600万円円で推移中とのことでした。

大きな特徴は、旧学区を構成する9つの自治区長が、運営理事として参加していることで、地域の学校に対する深い愛着が伺えるものです。施設では都市山村交流事業として、農業体験を柱とした種々の自然体験のメニューを提供しています。

また、販売事業としては、地域の農産物や加工品の販売に加え、グラウンドを利用した軽トラ朝市の展開も賑わいつくりの一助となっています。

次の研修先の山鹿市では、「歴史浪漫息づく田園都市づくり」に取り組んでいます。

市内には江戸時代の参勤交代にも利用された豊前街道が通り、古い町並みや国指定重要文化財の芝居小屋「八千

と住民の意識を変えることが大切だと岩滑区長の説明はとても説得力のあるものでした。



岩滑区の自主防災会の活動について熱心に質問する委員(半田市)

総務
常任委員会

産業経済
常任委員会

行政
視察

教育民生
常任委員会

建設
常任委員会

教育民生常任委員会は、7月30日から8月1日までの日程で、北海道芽室町、音更町、札幌市の3市町を視察しました。

初日の芽室町では、特別養護老人ホームの民営化について学びました。民営化に移行するためには多くの課題があります。介護サービスの内容に大きな変化が生じないように、チェック体



全国のコンビニで利用可能な証明書交付事業の説明に聞き入る(音更町)

制の整備や利用料金、また、施設職員の雇用や正職員の処遇問題など、議会としても、当局と平行して学ぶ必要があります。

2日目には音更町で住民票の写しなどの各証明書をコンビニエンスストア店舗内のマルチコピー機から、交付するサービスについて学びました。

就労者の業務時間内の役所訪問は難しく、また3月、4月の異動時期の窓口混雑の解消や、行政改革の一端にある出張所の廃止など、時代の変化を捉えるために必要な事業であり、その手法を探ることが必要だと感じました。

3日目の札幌市では、近年クローズアップされている環境問題への取り組みについて環境プラザを視察しました。環境に優しい社会を創り、地球環境の保全に貢献していくための活動内容を学び、一般社会人はもとより、大学生から保育園児まで、次代を担う若者たちへの環境教育を幅広く展開している事業に感服しました。また、市の面積の7割を占める森林整備の重要性や、環境問題について企業が果たしている社会貢献の大切さを、あらためて実感し、さらに理解を深める必要を感じた視察研修でした。

境や歴史的風景を、まち全体の財産として捉え、守り、つくり、育てることで景観が形成されていきました。その重厚さは明治以降の倉敷商人の活躍と、瀬戸内海に面した水島工業地帯の経済活動の躍進が特記されている超一流のまち倉敷、市民一人一人の参加意欲と思い入れが感じられるまちでした。

兵庫県姫路市は、世界文化遺産、国宝姫路城、更には、来年からのNHK大河ドラマ軍師官兵衛を彷彿させるなど、話題にはこと欠かないまちであり、北駅前のデザインコンセプトは、輝き続ける城下町姫路城を望み、時を感じ、人が交流する「おもてなしの広場」と明確でした。

やはり、常に題材になるのは歴史や文化、その地域の、「らしさ」の追求でした。

大阪府豊中市は、関電と市水道局の共同事業で、浄水池から配水池までの落差35m、延長6.8kmの水道管を通る水力を利用し、配水池流入点に水車発電機を置いた自然落下発電システムにより129kwの水力発電を行っています。配水池内電気を賄い、残り電気を売電し、CO2削減で環境負荷低減に寄与するなど、本市にも望みありやと納得させられました。



きくちふるさと水源交流館を視察(菊池市)



水道施設を利用した小水力発電を視察(豊中市)

代座」が当時のまま残ります。

感心したのは、「山鹿市旅先案内の会」の活動でした。これは、八千代座や全国的にも有名な山鹿灯笼祭りを体験できる灯笼民芸館など、観光客を無料で案内していることでした。

最後の視察地となった合志市では、純農村地域の強みを活かす「特産品地域ブランド推進協議会」のユニークな取り組みを学びました。